

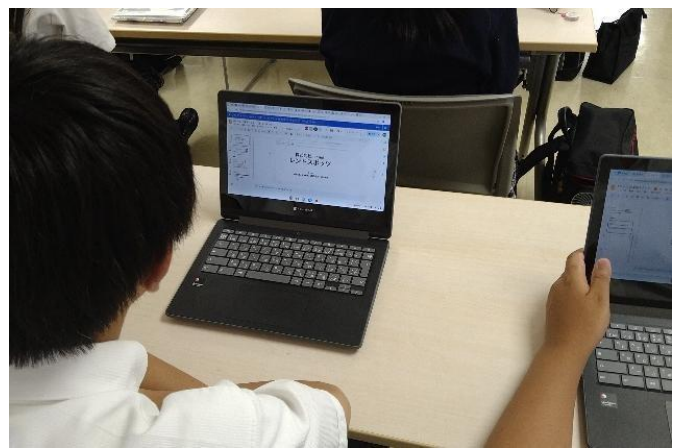
起業論・アントレプレナーシップ講座

アントレプレナーシップ(起業家精神)を学ぶことは、現代社会における重要なテーマです。

8月4日(火)・5日(水)に、全科学年(希望者)を対象に、佐々木敦斗氏(東京大学卒業、朝日新聞記者、リクルート社員を経て、教材開発会社を起業)をコーディネーターに、「起業論・アントレプレナーシップ講座」を実施いたしました。

1日目は、「起業とは何か」を知るプログラムです。

午前は、オリエンテーションとして東北大学で「アントレプレナーシップ」を学ぶ学生の講話をはじめ、栃木県で活躍されている起業家(日本山林再生株式会社 中村純氏、株式会社情報の森 山田Apache悠大氏)をお招きし、高校生自身が地域で起業する可能性に気付くことができるお話をいただきました。午後は、生徒がグループでビジネスプランを考えました。「とちぎの課題を解決し、地域を活性化するビジネス」、「全国の高校生の困りごとを解決し、高校生活を楽しくするビジネス」、「テクノロジーの力で課題を解決し、新しい世界を創造するビジネス」、「自由テーマ」の中からテーマを選び、グループに分かれてワークショップを実施しました。



2日目は1日目で得た知識を活用し、さらにビジネスプランを深めました。午前中は、とちぎアントレプレナーシップコンテストの概要の説明、午後は、ビジネスプランをGoogleスライドによりグループごとに発表しました。起業家(株式会社駐妻キャリアnet 三浦梓氏、FLAP久谷 翔大氏)2名をお招きして、講評をいただきました。

最も良い評価をいただいたのは「ひがさんぽ ～日本の旅に涼しさと彩りを～」を発表したチームでした。京都など観光地にインバウンド観光客向けにインスタ映えする和風テイストの日傘をレンタル・購入できるようにするビジネスプランでした。

審査員から、「すべてのチームが高校生ならではのビジネスプランであり、非常に興味深いものがありました。この経験を今後の勉強に生かしてほしい。」とのお話をいただきました。

参加した生徒からは「起業ということを知ることができてよかった。」「起業家の方々から色々なお話を聞く

ことができ、グループでのプレゼンテーションなど、今までにないとても貴重な経験ができ、とても楽しかった。」「起業のプランを考えるのは楽しかった。」「起業の話を聞いて沢山のひととの関わりやたくさんの経験が積み重ねで成り立つものだと言うことが分かった。」「以上のような感想が聞かれ、将来考えるよいきっかけとなったようです。

プレゼン後の様子



審査員の方々から最優秀賞をいただきました。

